



ごみ減量・リサイクル推進啓発キャラクター  
メビウスちゃん

●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課  
●電話 214-8226

# あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

プラスチック資源化量約10%増！ 他	1P
深沼海岸で漂着物の組成調査を実施しました	2P
仙台市環境局からのお知らせ 他	3P
令和4年度活動報告書の集計結果をお知らせします	4P

**【ワンポイント】**

◎汚れは、固形物が残らない程度に、拭き取るか、軽くすすぐ等してから出してください。

◎チューブ類は、中身を使い切って出してください。

**OK!**

**NG!**

中身が残っているチューブ類の混入が増えているニャ

フケ猫ちゃん

**プラスチック資源化量約10%増！**

本市では、4月より、プラスチック製容器包装に加え、製品プラスチックについても分別収集を開始しています。4月から9月までの半年間におけるプラスチック資源の1日当たりの資源化量(※)は、前年に比べて約10%増加しました。市民の皆さまのご協力により順調な滑り出しとなっています。

しかしながら、家庭ごみの中には、まだプラスチック資源が多く含まれています。引き続き、一層の分別・リサイクルにご協力をお願いします。

※収集したプラスチック資源から、不適物を取り除き、再資源化した量

**「ごみ袋は開封しないでください」**

ごみ集積所に正しく分別されていないごみ袋が出されていると、気になる方もいらっしゃるかと思います。

中身を確認するためにごみ袋を開封する行為は、プライバシーの侵害にあたる恐れがあるだけでなく、感染症のリスクもあることから、分別されていないごみ袋を見つけた際には絶対に開封しないようお願いいたします。

環境事業所では、ごみの分別や出し方など、ごみ集積所の改善に関するお手伝いをしています。お困り事がございましたら、お気軽に「J」相談ください。

■「ごみ集積所などに関する相談窓口」

《環境事業所連絡先一覧》

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300

## 令和4年度活動報告書の集計結果をお知らせします

クリーン仙台推進員の皆さまには、年1回「活動報告書」を提出いただいております。令和4年度の活動報告書の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

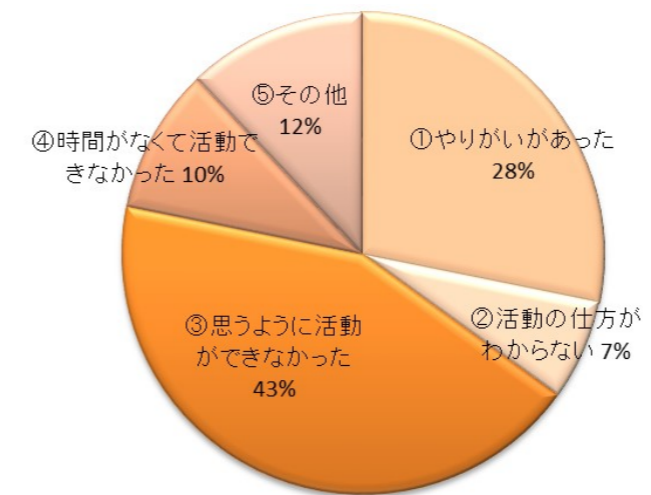
### ①クリーン仙台推進員としての活動内容とその頻度について

活動内容として最も多かったものは、ごみ集積所の点検・見回りで、毎日または週数回活動しているとの回答や、ごみ集積所の清掃の割合も高く、常に集積所とその周辺に目配りをいただいていることが、町内のみなさんが気持ちよく集積所を使い、生活環境を清潔に保つことにつながっています。

質問項目	毎日	週数回	月数回	年数回	なし
ア.ごみ集積所の清掃	5.6	30.0	34.0	19.9	10.5
イ.ごみ集積所の点検・見回り	11.5	34.8	35.9	15.4	2.4
ウ.ごみ集積所での分別啓発	1.1	13.0	22.7	39.7	23.5
エ.ごみ集積所の改修	1.1	3.9	10.2	58.8	26.0
オ.チラシやポスターの作成	0.5	1.6	6.0	36.3	55.6
カ.町内会等へ環境記事掲載	0.8	2.1	9.1	42.8	45.2
キ.町内会へ報告や呼びかけ	0.5	3.0	20.6	54.9	21.0
ク.まち美化活動	2.3	5.9	18.6	48.2	25.0
ケ.不法投棄巡視パトロール	3.4	11.7	18.7	32.2	34.0
コ.環境に関する勉強会の実施	0.4	1.0	2.8	18.9	76.9

また、町内会報等への環境記事掲載や町内会への報告や呼び掛けを行っている推進員も過半数を超えていました。集積所の利用方法や正しいごみの分別方法に加え、ごみの減量・リサイクルに関する情報などについても、地域の皆さまへの周知にご協力をお願いいたします。

### ②クリーン仙台推進員として活動した感想について



活動した感想は、「思うように活動ができなかった」と回答した割合が43%と一番多く、昨年度もまだコロナや仕事・体調等の理由により活動が思うようにいかなかったという感想をいただいています。活動については、例えばメビウス通信に同封されているチラシの回覧や掲示など皆さまの無理のない範囲でできることから実施をお願いいたします。

2番目に多かったのは「やりがいがあった」で、28%でした。集積所の修繕ができた・住民参加の清掃活動を実施したなど、地域のみなさんと協力しながら目標を達成できたことが、やりがいにつながっている方が多いようです。

環境事業所では町内会でごみ分別について学べる「出前講座」、家庭ごみ減量課ではワケルくんバスに乗って環境施設を見学する「環境施設を見る会」も行っております。地域の方々との勉強会にぜひご活用ください。

各区の環境事業所では、不適正排出や集積所に関するご相談をお受けし、改善へ向けたお手伝いをしています。お困りの際は、お気軽にご相談ください。※連絡先は1Pをご覧ください

問：家庭ごみ減量課 214-8227



◎12月29日(土)は、**宮城野工場**と**泉工場**が営業しています。燃やせるごみや粗大ごみ等の自己搬入を受け付けている宮城野工場(青葉区)と今泉工場(若林区)は、年末の12月29日及び30日の通常通りの営業しております。

混雑が予想されますので、ご利用の際は時間に余裕をもち、ご来場ください。

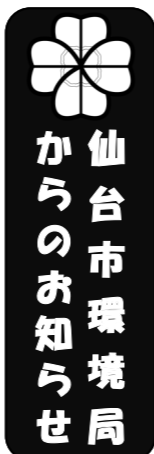
年末年始は、12月31日～1月3日まで休業しております。ご了承ください。

◎12月29日(土)は、**宮城野工場**と**泉工場**が営業しています。燃やせるごみや粗大ごみ等の自己搬入を受け付けている宮城野工場(青葉区)と今泉工場(若林区)は、年末の12月29日及び30日の通常通りの営業しております。



電話 716-53001

◎12月29日(土)は、**宮城野工場**と**泉工場**が営業しています。燃やせるごみや粗大ごみ等の自己搬入を受け付けている宮城野工場(青葉区)と今泉工場(若林区)は、年末の12月29日及び30日の通常通りの営業しております。



◆年末の大掃除に向けて  
粗大ごみ等、自宅からまとめてごみを出す際の注意点をお知らせします。

◎「粗大ごみ受付センター」は混み合う時間帯を避けてご利用ください。  
仙台市では、粗大ごみの収集申し込みを「粗大ごみ受付センター」にて受け付けています。  
「粗大ごみ受付センター」は、月曜日など休日明けの午前中(特)9時～10時)は電話が大変混み合います。「ご利用の際は、混み合う時間帯を避けるようご協力ください。」  
年末年始は、12月29日～1月3日まで休業しております。ご了承ください。

なお、インターネットからお申し込みいただける品目もございます。こちらは24時間受け付けておりますので、是非ご利用ください。

粗大ごみ受付センター  
電話 716-53001

### クリーン仙台推進員初任者研修を実施しました

新たにクリーン仙台推進員として委嘱された方々を対象に、8月～10月にかけて「クリーン仙台推進員初任者研修」を開催しました。研修会は区ごとに開催し、青葉25名・宮城野23名・若林13名・太白38名・泉28名の計127名の皆様にご参加いただきました。



泉区の様子

研修では、クリーン仙台推進員の役割や、資源とごみの分け方・出し方など、クリーン仙台推進員として必要な基礎知識の他、4月から開始したプラスチック資源の分別回収や10月に変更した雑がみの出し方について学びました。

研修では、クリーン仙台推進員の役割や、資源とごみの分け方・出し方など、クリーン仙台推進員として必要な基礎知識の他、4月から開始したプラスチック資源の分別回収や10月に変更した雑がみの出し方について学びました。



太白区の様子

また、少人数のグループに分かれ、「模擬ごみ」を使用したごみの分別体験をしていただきました。参加者の皆さまからは、「とても勉強になった」「これからはよく見て分別したい」など、大変好評でした。

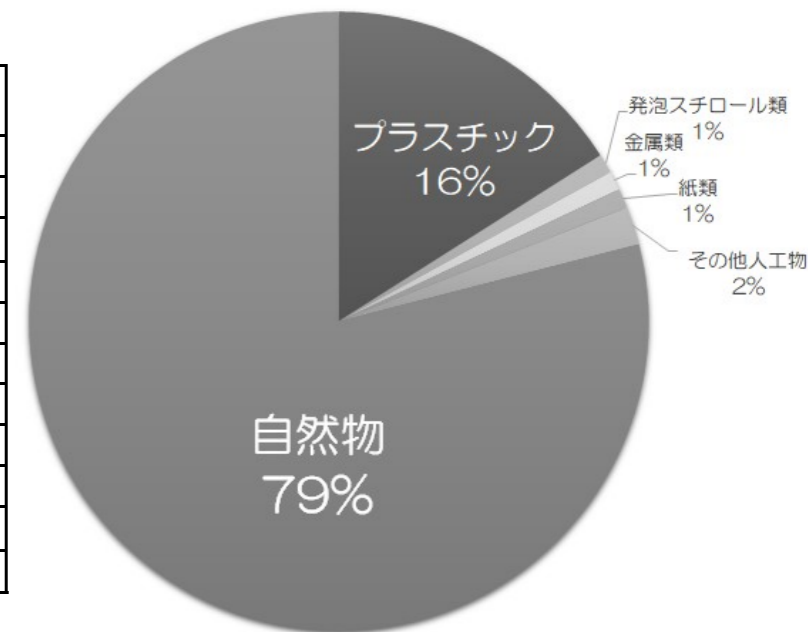
今回のメビウス通信には、今年度実施した研修会の資料を同封しておりますので、今後の活動の際にご活用ください。 問：家庭ごみ減量課 214-8227

### 深沼海岸で漂着物の組成調査を実施しました

近年、海に流れ出たごみが生態系に及ぼす影響が懸念されています。家庭ごみ減量課では海に流れ着いたごみの実態を把握するために、令和5年6月に若林区の深沼海岸で漂着物の組成調査を実施しました。

- 1 調査手法
  - ・国のガイドラインに基づき、海岸の50m×30m四方を区画し、区画内の漂着物を回収。
  - ・回収した漂着物を10分類し、重量を測定。
- 2 調査結果

分類	重量kg	重量比%
プラスチック	1.8	16
発泡スチロール類	0.1	1
布類	0	0
ガラス・陶器類	0	0
金属類	0.1	1
紙類	0.1	1
ゴム類	0	0
木製製品	0	0
その他人工物	0.2	2
自然物	9.0	79
計	11.3	100



流木などの自然物(9.0kg)に次いで、プラスチックごみ(プラスチック及び発泡スチロール)が多く回収される(1.8kg)という結果となりました。

回収したプラスチックを分けてみると、ペットボトルや食品容器など、私たちがよく目にする身近なごみが多くみられました。

マイボトルやマイスプーン、マイバッグを持ち歩くなど使い捨てプラスチックを使う機会を減らす、使用したプラスチックは正しく分別してごみに出す、ポイ捨てをしない、といった一人一人の行動の積み重ねが海洋プラスチックごみの削減につながります。暮らしの中でできることを始めてみませんか。



↓プラスチック類

ペットボトル→



問：家庭ごみ減量課 214-8226